

いつまでも健やかに・・・

——私たちの願いです。

医療法人玉昌会 加治木温泉病院

発行 平成29年5月1日

広報誌 第44号

すこやかか加温



二〇一七年度も
よろしくお願い申し上げます。



目次

巻頭言 医局長 折田 悟	2
お知らせ	
ビジョナリーホスピタル認定	3
新入職医師の紹介 病院機能評価の認定証が届きました	4
掲載記事紹介	5
イベント・行事	6～10
CKD（慢性腎臓病）って何?!	11
腰痛の原因と予防	12～13
診療実績報告	14
個人情報保護方針 etc	15
氷山の一角・編集後記	16

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：全てに謙虚な気持ちで接する
賞：お互いを思いやり敬意を払う
感：全てに感謝する
微：微笑みを添えて態度で示す

巻頭言

平成29年度が始まりました。新年度は新社会人の新たな旅立ちが始まるときでもあります。加治木温泉病院にも21人の新入職員が入職しました。大きな希望を持ち将来の夢に向かって歩く第一歩です。これからの大いなる活躍を期待しています。しかし残念なことに新社会人の約1.5割が1年以内に、約3割が3年以内に会社をやめていきます。中には入社式の翌日から連絡もなしに会社に出勤しなくなる人もいるとのことです。若い人の言葉では「ばっくれる」というようです。もちろん会社をやめる新社会人にも当然言い分はあります。おもな理由が「仕事の内容が気に入らない」「労働時間・環境の不満」「同僚・先輩・後輩への不満」などです。ゆとり教育の影響もあるでしょう。しかし学生時代と違い親は守ってくれません(中には会社にまでクレームを言ってくる親もいるようですが…)。当たり前のことですが会社という組織の中では自分の好きなことばかりできるわけではありません。いやな仕事、大変な仕事もあります。自分と馬の合わない人とも付き合わないといけません。しかし、せっかく何か月もかけて就職活動して得た仕事を簡単に手放すのは実にもったいなく残念な話です。会社にしても新入社員一人雇用するのに約50万円かかるという統計があります。それだけの時間と費用をかけて就職したのに簡単にやめてしまっただけでは会社にとっても大きな損失です。

昨年12月30日に亡くなったノートルダム清心女子大学元学長の渡辺和子さんの著書に「置かれた場所で咲きなさい」という本があります。平成24年に出版され200万部を超えるベストセラーとなりましたので読まれたことのある方も多いと思います。このタイトルは、もともとアメリカの牧師ラインホルド・ニーバーの詩“Bloom where God has planted you.”からの引用で直訳すると「神があなたを植えたところで咲きなさい」となります。しかし日本人にはキリスト教がそれほど馴染みがありませんので上記のような訳にしたと言われています。その著書の中では「咲くということは、仕方ないと諦めることではありません。それは自分が笑顔で幸せに生き、周囲の人々も幸せにすることによって、神が、あなたをここにお植えになったのは間違いでなかったと、証明することなのです」と書いてあります。生きていれば、こんなはずではなかったと思うことが次から次に出てきます。そんなときこそ、その状況の中で「咲く」努力をしましょう。

新社会人の皆さん是非共新たな場所で素晴らしい花を咲かせてください。そうすることによって自分だけでなく周囲の人々も幸せにすることが出来るのです。



医局長 折田 悟

加治木温泉病院 理念 基本方針

《理念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療及び介護サービスを提供します。

《基本方針》

1. 患者さまの尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます
3. 地域包括ケアシステムの構築に寄与し、地域のニーズに沿った医療を担い、入院から在宅までの一貫した医療・介護の提供を目指します
4. 病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 健診や保健指導により地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます

お知らせ

ビジョナリーホスピタル認定 環境・健康のダブル格付取得は日本初！



医療法人玉昌会はこのたび、国の政策金融機関であるDBJ（Development Bank of Japan Inc. 株式会社日本政策投資銀行）より、「DBJビジョナリーホスピタル」に認定されました。

「DBJ ビジョナリーホスピタル」は、公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を受けた病院を対象に、DBJが開発した独自の環境評価・BCM評価システムにより、環境配慮、または防災および事業継続対策に優れた病院を「DBJ ビジョナリーホスピタル」として評価・認定する制度です。

認定に際して、以下の取り組みが特に評価されました。

（１）鹿児島県下で医療法人として初めてエコアクション21認証を取得し、病院における環境経営に先駆的に取り組んでいる

（２）チーム医療推進部を中心に、慢性期病院として地域医療連携の取り組みを強化すべく、基準を上回る目標を設定し、医療の質と効率性にかかる普段の改善を行っている

（３）BSC経営に基づく部署毎の定量目標を設定し、当該目標および取り組みについて「玉昌会年報」を通じ社外のステークホルダーに向けて積極的に情報開示を行っている

※BSC経営は、ビジョンと戦略を明確にすることで、財務数値に表される業績だけでなく、財務以外の経営状況や経営品質から経営を評価し、バランスのとれた業績の評価を行うための手法。

その結果、玉昌会は「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という認定を取得しました。

医療法人玉昌会は、これからも地域の皆さまへ安心・安全な医療、介護、福祉サービスの提供に努め、事業活動の中に環境配慮を求め、継続的に改善し取り組んで参ります。

3月31日付 南日本新聞でも掲載



新入職医師の紹介



腎不全外科科長・
腹膜透析センター準備室室長
松本 秀一朗 医師

このたび、加治木温泉病院にて腎不全外科を開設し、副院長の穂満先生と一緒に皆様の診療を担当いたします松本秀一朗と申します。

腎代替療法は血液透析・腹膜透析・腎移植の3つの治療法が柱になっています。これら3つの治療法に精通しており、患者様にあった適切な治療法の提供を目指しております。また、バスキュラーアクセス（シャント）は命綱です。みなさんが安心して透析療法を続けられるよう、シャントの管理も行ってゆきます。狭窄・閉塞などのトラブルにも当院にて迅速に対応いたします。何かありましたら、いつでも気軽に声をかけてください。どうぞよろしくお願いいたします。

◆出身 東京都

◆趣味 魚釣り 温泉巡り 食べ歩き

◆経歴

1997年北海道大学医学部医学科卒業、北海道大学第一外科に入局し臓器不全外科の臨床・研究に携わる。専門領域は腎不全外科・腹膜透析のほか臓器移植全般・一般外科・泌尿器外科

2006年 臓器保存の研究により医学博士（北海道大学）

同年 アメリカ移植学会において移植免疫の研究によりYoung Investigator's Award 受賞、日本人工臓器学会にて学会賞受賞。ミネソタ大学移植外科にて脾臓・脾臓移植チームに所属 脾臓分離法や異種移植の臨床・研究に従事。宇和島徳洲会病院、万波誠医師に師事し、3年間で約200例の腎移植を経験

2012年5月より、鹿児島徳洲会病院腎不全外科部長 腎移植やシャント手術のほか、国内有数の腹膜透析導入を行ってきた。

2017年2月より玉昌会グループに移籍、腎不全外科を開設、5月に腹膜透析センター開設予定。

病院機能評価の認定証が届きました

昨年11月に3回目となる病院機能評価更新審査(病院機能評価3rdG:Ver.1.1 主たる機能:慢性期病院、副機能:リハビリテーション病院)を受審。このたび、日本医療機能評価機構より認定証が届きました。当院外来ロビーへも掲示させていただきましたので、ご覧ください。



掲載記事紹介

「九州医事新報社」（九州の月刊医療業界新聞）3月20日号に「災害特集」の一環として、高田病院の移転決定と被災時対応の記事が掲載されました。

移転先の複合施設「キラメキテラス」の被災時対応の仕組みやコンセプトの紹介をはじめ、当法人がNPO法人災害福祉広域支援ネットワーク（通称「サンダーバード」）鹿児島支部として、熊本地震発生の日から積極支援を行った経緯など、高田理事長や萩原院長、飯伏施設管理部長へのインタビュー記事として掲載されています。



詳しくは、九州医事新報社のホームページを右のQRコードからご覧下さい。



2月23日に当法人がNPO法人災害福祉広域支援ネットワーク（通称「サンダーバード」）鹿児島支部として開催した地域の災害時机上訓練の記事が南日本新聞に掲載されました。

▼記事全文

【高齢者の災害支援探る 始良で机上訓練 住民、施設、病院が連携】

災害時の地域の福祉態勢を検討する机上訓練が23日、始良市加治木の高齢者施設「しあわせの杜ケアレジデンスおはな」であった。施設・病院職員、地域住民ら約30人が参加。

情報収集や伝達方法、必要な支援について課題を拾い上げた。

全国6カ所所で実施する厚生労働省事業の一つとして、医療法人玉昌会と東京の災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバードが開いた。

地域で震度6強の地震が発生し、ライフラインが止まったり、電話、メールが通じなかったりする状態を想定。

各施設の利用者や、支援が必要な地域の高齢者・障害者の安否確認、空き家を活用した避難者受け入れ、ボランティアセンターづくりなど、地図上で動きを確認した。

札立地区自治会長の有村勝美さん（76）は「民生委員や住民の協力で地域の見守り活動をしている。大規模災害に備え、老人施設や病院との連携、情報交換をさらに深めていきたい」と話した。



イベント・行事

加治木駅伝大会へ加治木温泉病院チームが出場

1月28日（土）に開催された『第50回 加治木駅伝競走大会』へ当院から2チーム出場しました。

当日は天気にも恵まれ、温かい気候の中、たくさんの応援を頂きながら、各チームたすきを繋ぎ、完走することができました。

沿道からの暖かいご声援、ありがとうございました！

加治木温泉病院Aチーム						
区間	選手名	区間タイム	小計	男子総合 50チーム 通過順位	一般男子 56チーム 区間順位	所属
1区(3.3K)	肥田 翔	12分25秒		20	15	とまり木
2区(1.6K)	中野町徹	06分07秒	18分32秒	20	19	2階西病棟
3区(1.8K)	竹葉靖恭	06分54秒	25分26秒	18	14	臨床工学室
4区(1.6K)	内村 学	08分08秒	33分34秒	25	42	リハセンター
5区(1.6K)	豊田勝也	05分48秒	39分22秒	22	9	ヘルパ～甲東
6区(1.6K)	新 慶介	06分12秒	45分34秒	21	12	3階東病棟

総合順位 21位／56チーム中
男子クラス 順位 15位／50チーム中

加治木温泉病院Bチーム						
区間	選手名	区間タイム	小計	男子総合 50チーム 通過順位	一般男子 56チーム 区間順位	所属
1区(3.3K)	鹿嶋善治	14分57秒		47	41	2階西病棟
2区(1.6K)	牧佳奈美	08分08秒	23分05秒	50	48	3階東病棟
3区(1.8K)	坂元真一	07分39秒	30分44秒	48	34	事務部
4区(1.6K)	高田華世	08分18秒	39分02秒	48	43	JOY
5区(1.6K)	平川香織	07分55秒	46分57秒	49	41	リハセンター
6区(1.6K)	山下正策	08分06秒	55分03秒	49	41	名誉院長
補欠	野添裕継	—	—	—	—	法人情報管理室

総合順位 49位／56チーム中
男子クラス 順位 43位／50チーム中



イベント・行事

霧島市、始良市の福祉まつりへ「体力測定コーナー」設置

「始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター」の事業の一環として、霧島市と始良市で開催された福祉まつりにおいて、「体力測定コーナー」を設置し、地域の皆さんへ大変喜んでいただきました。



◎第10回霧島市健康福祉まつり
場所：霧島市国分シビックセンター



◎第6回あいら福祉まつり 場所：始良市始良公民館



イベント・行事

始良地区・地域連携NetWorks情報交換会を開催

2月24日(金)、かごしま空港ホテルにて「第9回地域連携NetWorks情報交換会」を開催致しました。今回は、始良地区医師会会長の佐藤先生、川原腎・泌尿器科クリニックの川原先生、西眼科の西先生、始良市、霧島市、伊佐市、鹿児島市の16の医療機関、27の介護保険施設、在宅サービス事業所等より多職種総勢120名の方々にご出席頂きました。

プレゼンテーションでは、中外製薬株式会社小路様より

「これからの始良霧島地区の医療・介護業界の流れと地域医療連携推進」というテーマで、ご講話頂きました。

ご出席いただいた皆様方より「多くの方と交流でき充実した機会となった」「情報交換ができてよかった」という声を多数頂きました。

これまで年2回開催して参りましたが、次回は第10回と節目を迎えます。今後も地域の皆様との「顔の見える連携の場」として、ネットワーク作りや情報交換の場として、活用して頂けますよう継続して参ります。次回も多くの皆様方のご出席を心よりお待ちしております。

第9回 始良地区
地域連携NetWorks情報交換会



始良地区地域連携NetWork

『これからの始良霧島地区の医療・介護業界の流れと地域医療連携推進』

中外製薬(株)メディカル・ネット・フォー・クリエーション
小路光雄



2016年度下期 玉昌会グループ合同スタッフ会議を開催

玉昌会グループでは、副主任以上の役職者を対象に半期ごとに合同スタッフ会議を開催しています。今回は3月3日(金)に開催され、理事長兼加治木温泉病院院長の高田昌実先生並びに鹿児島地区担当理事兼高田病院院長の萩原隆二先生より、経営方針の他、当院を取り巻く社会状況、医療福祉の現状と未来、それに向けた当法人の施策等の発表がありました。

2016年度玉昌会グループ 下半期合同スタッフ会議

医療法人 玉昌会 理事長
加治木温泉病院 院長
高田 昌実



2016年度第2回合同スタッフ会議

2016年(平成28年)度 一年間の振り返り

2017年3月2日(木) 高田病院
法人 鹿児島地区担当理事
高田病院 院長



イベント・行事

第20回 始良地区研究発表会を開催

3月16日(木)、当院1階食堂談話室にて、第20回始良地区研究発表会が開催され、各部署より7演題の発表がありました。最後に副院長の穂満医師より各演題ごとに総評をいただきました。

演題プログラムと総評

1. 便秘のアセスメントと排便サポート～便秘治療剤・下剤に頼らない看護の関わりを通して～
塩満陽子〈加治木温泉病院 2階南病棟 看護師〉
【総評】薬に頼らない看護の関わりを目指し、下剤が減らせたのは評価できる。今やっていることが理念に合っているかを振り返ることの重要性も再認識できる機会になった。
2. 車椅子と椅子での食事 ～それぞれのメリットとデメリットを知る～
横山美紀子〈しあわせ通りらぶ 介護福祉士〉
【総評】当院でも車椅子で座位を取っているケースが多いが、普通の椅子で食事を探ってもらうことでリハビリになるという発見ができたところが良かった。
3. 認知症を理解し介護の統一を図る ～「ひもときシート」を活用して認知症を考える～
米満康浩〈加治木温泉病院 2階南病棟 介護士〉
【総評】ひもときシートのことを知ることができた。思考のプロセス標準化ができたのは良い取り組みだった。他の部署にも展開していただきたい。
4. 当院における地域包括ケア病棟の特色
古木あい子〈加治木温泉病院 地域医療連携センター MSW〉
【総評】当院の地域包括ケア病棟の特色や強みがわかって良い機会となった。意外だったのは、緊急入院が多いということだった。
5. ipadを活用した遠隔心エコー検査への取り組み ～外来透析患者の心機能評価～
川原翔太〈加治木温泉病院 放射線科 放射線技師〉
【総評】循環器科のDr.からの提案により実現することができた。医療機能評価受審の際にも新たな取り組みということで大いに評価された。
6. 認知症患者へ対するレクリエーション療法 ～排泄間隔の延長をこころみて～
川原園あゆみ〈加治木温泉病院 3階東病棟 介護福祉士〉
【総評】少人数でのレクリエーションを実施することで排泄間隔の延長が実現できたのは評価できる。「ひもときシート」も併用してみると更に良い結果に繋がるのではないだろうか。
7. 「冷罨法(クーリング)に関する意識調査」 ～パンフレット使用での勉強会を試みて～
福丸佐知子〈加治木温泉病院 3階西病棟 看護師〉
【総評】「発熱即クーリング」で良いのかが出発点だったとのこと。必ずしもそうでないことを認識できる良い機会となった。普段行っていることを疑問に思っで見返すことも大切。



イベント・行事

定期講演会「未来社会をあなたとともに」を開催



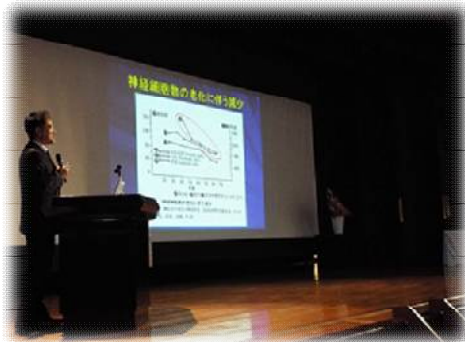
3月25日（土）、始良市始良公民館にて定期講演会を開催しました。

当講演会は、加治木温泉病院が鹿児島県より指定を受けている「始良・伊佐高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター」の事業の一環として、定期的に行われているもので、医療法人玉昌会定期講演会「未来社会をあなたとともに」との共催事業となっております。

今回は、鹿児島大学医学部保健学科教授の窪田正大先生をお招きし、ご講演いただきました。

当日は朝から冷たい雨が降りしきる足元の悪い中、216名の方々に聴講していただき、「ケア

マネの立場でご利用者さまとの対応へ応用できるお話しでとても勉強になりました。」「注意機能と記憶に関連があると思っていなかった。家族で注意機能が低下している人がいないか気かけようと思う。」「わかりにくい高次脳機能障害のお話しをわかりやすくお話しいただき、運転と高次脳機能障害の関連や軽度認知障害と注意障害の関連等興味深いお話しが聞けました」等の感想をいただきました。



新入職者のつどいを開催

4月8日(土)、始良市加音ホールにて、第28回玉昌会グループ2016年度入職者・2017年度新入職者のつどいが開催されました。

今回、新しく玉昌会グループへ総勢114名（2016年度入職者・2017年度新入職者）の方々に入職して頂きました。

皆さん、緊張した面持ちの中、つどいの式に参加されておりました。今回は特別講演として、東京医科大学理事長付参与・評議員である醍醐 象器 先生に『プロフェッショナル』について講演をして頂きました。

社会人としての在り方や、仕事を遂行していくなかでの精神論を熱く語って下さり、私たち職員も改めて初心にかえり、これまでを振り返る良い機会となりました。

新入職者のつどいは、理事長をはじめ、各事業部の部長、課長、管理者など役職者120名も参加。新入職者を代表して加治木温泉病院入職の徳永海沙さんが誓いの言葉を述べられました。

全部署での研修終了後、それぞれの部署へ配属となります。玉昌会グループの一員として共に成長し、各事業所で大いに活躍していただきたいと思います。





CKD（慢性腎臓病）って何?!



栄養室

腎臓の病気は自分には関係ないと思っていませんか？実は、CKDの患者数は全国で約1330万人(成人の8人に1人)と推計されており、「新たな国民病！」と言われるほど、とても身近な病気です。

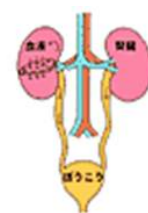
*CKDとは、腎臓の働きが健康な人の60%未満に低下するか、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態を言います。

<腎臓の働き>

腎臓は1個が約150g程の大きさですが、心臓から送り出される血液の20%以上が流れており、毎日200ℓもの血液をろ過して、老廃物を尿として体外に排出し、体の中をきれいに保っています。

〔腎臓の主な働き〕

- ①体内の血液をろ過して、老廃物や余分な水分を体外へ排泄する
- ②血液中の水分と、ミネラルのバランスを保つ
- ③血圧を調整する
- ④赤血球の生産に必要なホルモンをつくる
- ⑤骨を健康に保つのに必要なビタミンを活性化させる



<CKDになりやすい人>

加齢と共に腎臓の働きは低下していくため、高齢になるほどCKDになりやすくなります。また、高血圧や糖尿病、コレステロールや中性脂肪が高い(脂質代謝異常)などの生活習慣病や、メタボリックシンドロームとの関連も深く、誰もがかかる可能性がある病気です。

<CKDが進行するとどうなるの？>

腎臓は、一度あるレベルまで悪くなってしまうと自然に治ることはなく、放っておくと透析が必要な腎不全まで進行する場合があります。



<CKDを予防するためには？>

生活習慣の改善と、危険因子の適切な治療、早期発見のための定期的な健診の受診が腎臓を守るためには重要です。

〔CKD予防のためのポイント〕

- *塩分や脂肪をとりすぎない
- *肥満、運動不足の解消に努めましょう
- *喫煙、節酒に努めましょう
- *医師に相談し、危険因子を適切に治療(コントロール)しましょう

危険因子…糖尿病、高血圧、肥満、喫煙、高脂血症、高尿酸血症、大量飲酒など



<CKDは治療ができる病気です>

CKDは生命や生活の質に重大な影響を与える怖い病気ですが、早期に発見し、生活習慣の改善や薬物療法等の適切な治療をすることで、悪化を防ぐことが可能です。CKDは初期には自覚症状がほとんどなく、末期になるまで自分で気づくことはほとんどありません。体調の変化に気がつけているだけでは早期発見は難しいため、**定期的に健診を受ける**ことがとても重要です。



1. 腰痛が起きる原因

1-1. 背骨のS字カーブが狂う

ヒトは、進化の過程において直立二足歩行ができるための骨格などの機能を得ました。重力と共存して生きるために、背骨はS字カーブを描いて、負荷を分散するようになっています。また地面からの衝撃を受け止め逃がすためにも、このS字カーブは重要な役割を果たしています。

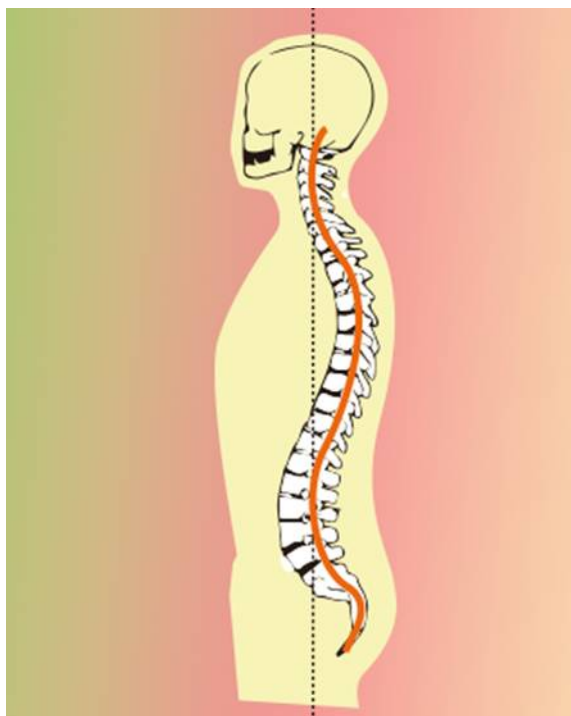
何らかの原因でS字カーブが失われると、体のカナメである腰に衝撃が加わりやすくなります。背骨と背骨を繋ぐ「椎間板」も変形し、様々な問題を引き起こします。

1-2. 腰やお腹を守る筋肉の働きが衰える

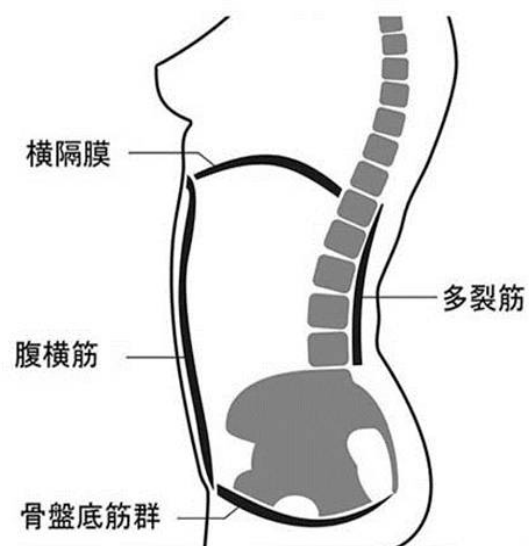
心臓や肺がある胸のまわりは背骨と肋骨で守られています。お腹まわりはどうでしょうか。そこにある骨は、太い背骨（腰椎）だけです。

そのために、お腹や腰を守る筋肉が生まれつき備わっています。これは、ボディビルダーなどで有名な6つに割れた腹筋（腹直筋）ではなく、お腹の深層部にあるインナーユニットと呼ばれる筋肉群です。インナーユニットは、呼吸や内臓の機能、姿勢の保持などにも大きく関与しています。

このインナーユニットがうまく活用されないと、腰椎に負担がかかることになり、腰痛の原因となります。



インナーユニットの4つの筋肉



2. 腰痛を予防するために

つまり腰痛予防には、この2点が大きく関わっているということです。すなわち、

- **姿勢を良くする**（背骨のS字カーブを維持することができる）
- **ストレッチとトレーニングを行う**（インナーユニットの働きを良くし、腰を守ることができる）

ことを実行すれば実現するのです。さらに、仕事や生活においてなるべく腰に負担をかけないようにすることが大切です。

何らかの原因でS字カーブが失われると、体の力ナメである腰に衝撃が加わりやすくなります。背骨と背骨を繋ぐ「椎間板」も変形し、様々な問題を引き起こします。

3. 正しい姿勢を維持する方法

3-1. 座っているときの姿勢を良くする

正しい椅子への座り方は、

- やや浅く腰掛ける。
- 腰が反らないように注意する
- 背筋をまっすぐ伸ばす
- 視線は水平にする。あごを引いたり突き出さないようにする。
- 脚が90度に曲がっている です。
- 骨盤を立てて座る。後ろや前に傾くのはNG
- お尻の骨が椅子の座面に当たることを感じる



背筋が伸びた正しい座り方です



骨盤が後ろに傾くような姿勢は、腰痛の原因になります

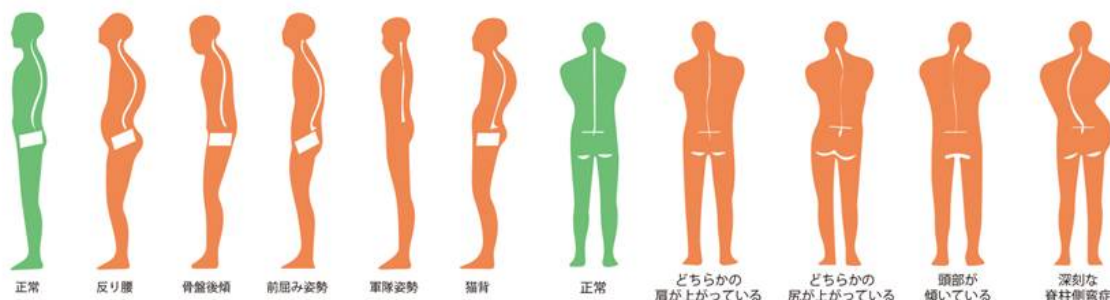
3-2. 立っているときの姿勢を良くする

常に正常な姿勢をキープするようにしましょう。正常な姿勢をつくるためには、

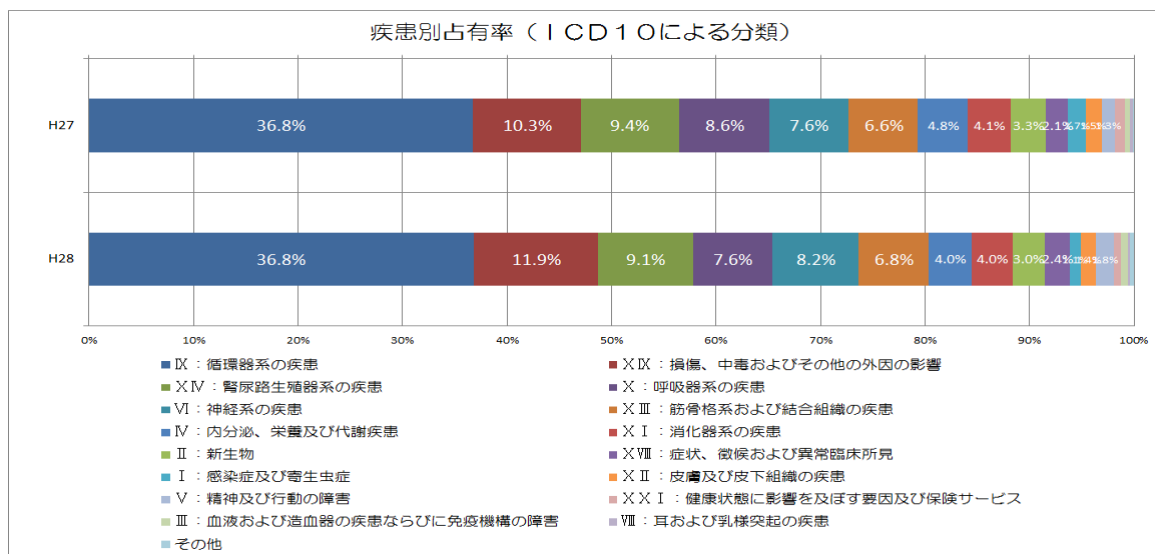
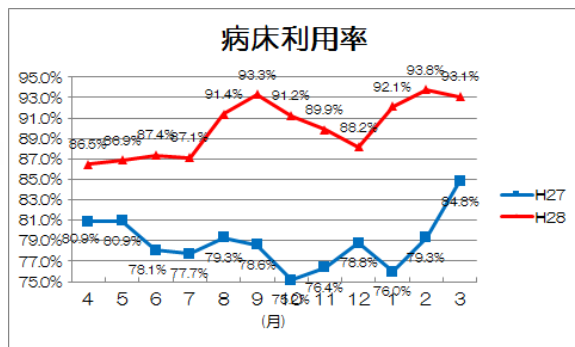
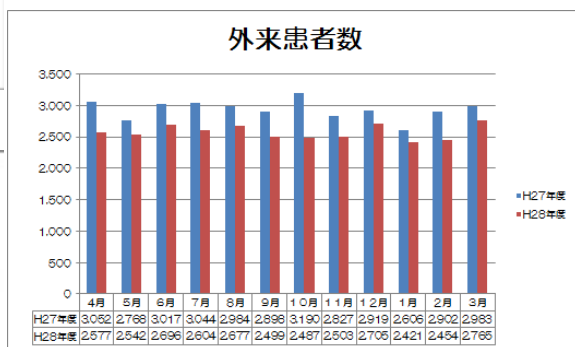
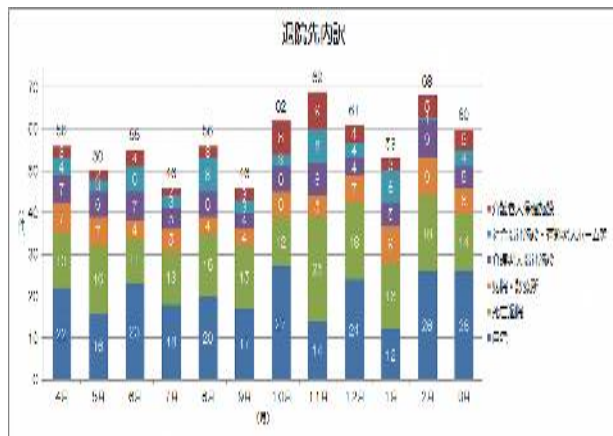
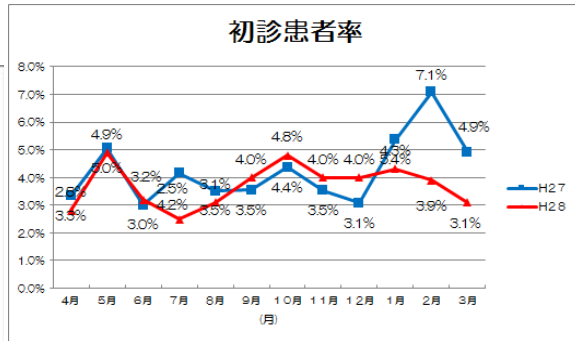
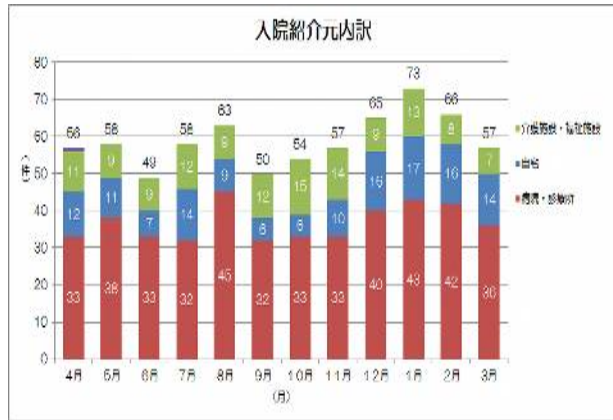
- 写真のように、まっすぐ立つ
- 真ん中の重心位置で立つ（左右どちらかの足に偏った力をかけない）
- 胸を軽く張り、頭が前に突き出ないようにする
- カバンの片がけをやめる（左右交互にかけようとする。またはリュックサック型のカバンを使う）
- X脚・O脚に注意する などです。



また、反り腰や猫背などの不良姿勢が、S字カーブを乱す最大の原因です。横から見てどちらかに傾いている場合も要注意です。



診療実績報告（H28年度）



○個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

○診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供及びカルテ開示についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、必要な条件書類等がございます。担当の窓口にて対応させていただきますので、ご遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

○セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療を受けることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させて頂いております。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

○患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者さまの選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利があります。

【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

【自己決定権】

患者さまは納得できるまで説明を受けたのち、医療スタッフの提案する医療行為を自分で選択する、同意して受ける、あるいは拒否する権利があります。

【個人情報の保護】

患者さまは、全ての個人情報、プライバシーが守られる権利があります。

氷山の一角（意見箱より）



患者さま・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答

【オムツの使用が多いのでは】

オムツ頻回に出しすぎ！どんな使い方をしたらそんな何枚も出すのか不思議。特にオムツカバー。そんな使わないはずなのに連続出している。1日1枚出しているのか？お風呂で3回換えているのは承知。紙オムツも1日4～5回だとは思いますが出しすぎ。もうちょっと節約してもらえませんか？病院費払っている身にもなってもらいたい。考えて。

➤オムツはそれぞれの患者様の尿量や皮膚状態に合わせて交換の頻度は調整させていただいております。カバーにつきましては汚染していない場合は交換しておりません。しかし、一日中使用されたものにつきましては処分させていただいております。疑問な点などございましたら遠慮なく直接スタッフへお尋ねください。ご説明させていただきます。大変貴重なご意見ありがとうございました。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室並びに腎センターへ設置してあります。患者さま・ご家族様より頂きましたご意見に対して、当院では毎月開催しております「サービス向上委員会」にて検討し、改善策を導き出して対応させていただいております。皆様からのご意見を今後ともよろしくお願い申し上げます。

❖編集後記❖

桜の開花時期も鹿児島は大変遅くなってしまいましたが、一斉に色とりどりの花が咲き始めました。新しいことを始めるにも良い季節です。新しい仲間も増えました。今号は、1月下旬からの記事を中心にまとめてあります。中でもビジョナリーホスピタルの認定は、私たちにとって大きな喜びと励みになりました。これから夏に向かって体調を崩さないよう十分気を付けてお過ごしください。

（編集委員 野添）

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001（代）

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushoukai.com/>

診療科目

- 内科 ●消化器内科 ●腎臓内科(人工透析)
- 肝臓内科 ●循環器内科 ●神経内科 ●泌尿器科
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ●リハビリテーション科
- 外科 ●消化器外科 ●歯科

